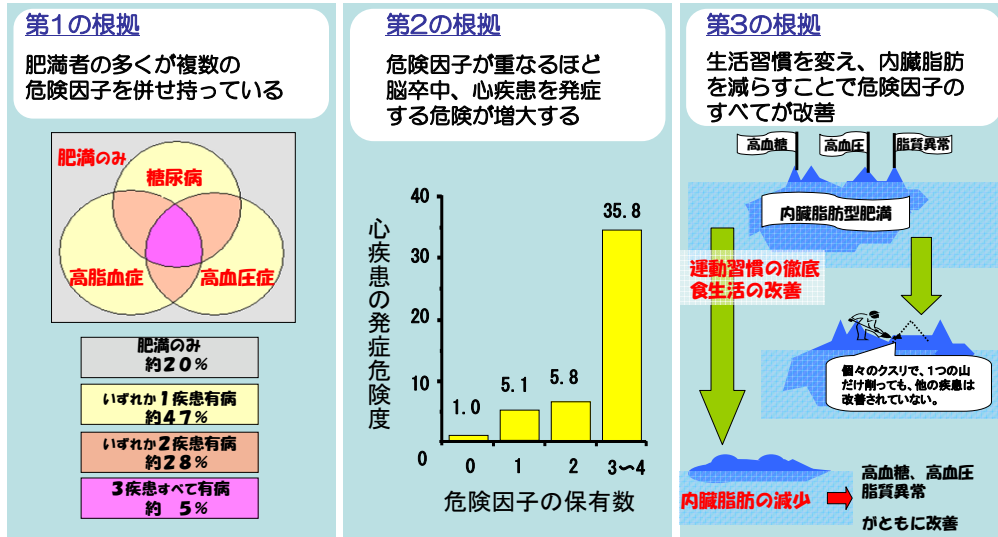


図5 メタボリックシンドロームを標的とした対策が有効と考えられる3つの根拠

メタボリックシンドロームを標的とした対策が有効と考えられる3つの根拠

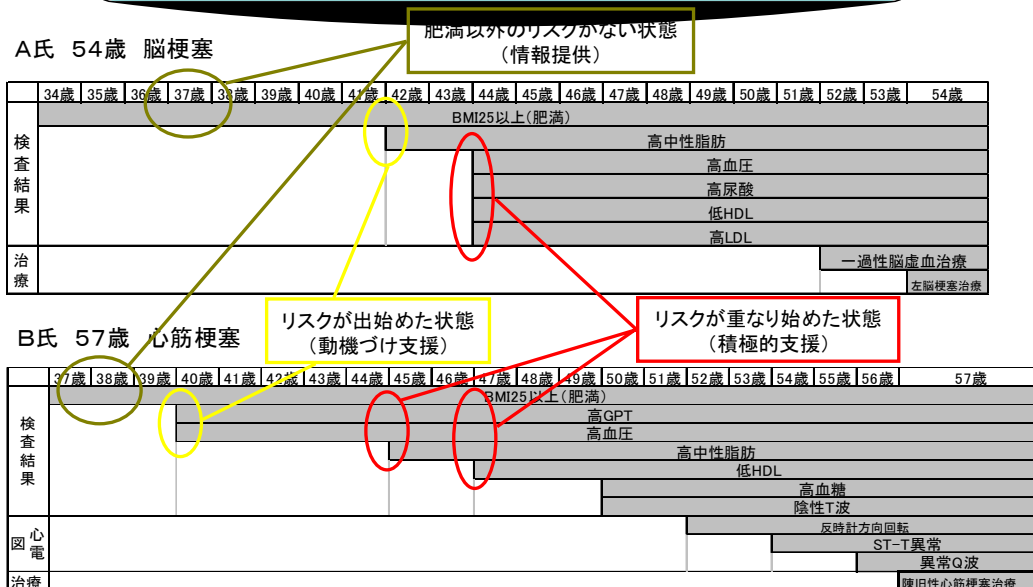


リスク(危険因子)が重なる(保有数が増える)と心疾患の発症危険度が、格段に上がる。(第2の根拠)
リスクの多い人から優先順位をつけて保健指導を行うことが重要である。

図6 脳・心臓疾患に至る経過

脳・心臓疾患に至る前に保健指導を行うことが重要

血管障害を起している職員ほとんどがこのような経過を辿っている



(生活習慣病健診・保健指導の在り方に関する検討会 尼崎市野口緑氏提出資料より一部改変)